

被災地に住宅用火災警報器を寄贈した企業に対する 消防庁長官感謝状の授与式の開催

予防課

去る平成23年9月7日（水）、東京都千代田区六番町の主婦会館プラザエフで行われた住宅用火災警報器設置対策会議において、東日本大震災の被災地である宮城県、岩手県及び福島県の仮設住宅に設置するための住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）の寄贈を行った消防用機器メーカー4社に対し、消防庁長官感謝状の授与を行いました。

住警器の設置は、住宅防火対策の「切り札」と言え、実際に、我が国の住宅火災における死者数は、新築住宅に対する住警器の設置義務化がスタートした平成18年以降減少を続けているなど一定の効果が現れているところですが、寄贈された住警器についても、被災地における住宅防火対策の推進に寄与するものと考えられます。



写真1 授与式の様子



写真2 授与式後の記念撮影



写真3 久保長官による祝辞

～受賞会社～

- ・ホーチキ株式会社
（代表取締役会長 藤本二郎 様）
- ・日本フェンオール株式会社
（代表取締役社長 井口雅雄 様）
- ・能美防災株式会社
（代表取締役社長 橋爪 毅 様）
- ・株式会社LIXILニッタン
（代表取締役会長 北爪敬治 様）

※カッコ内は代表受領者